

教科	公民	科目(単位数)	公共(3)	学年	1年	類型	普通科
学習目標	<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月 ～ 5月	第1章 ①法と基本的人権 ②消費者の権利と責任	・基本的人権の保障について理解し、法律とどのような関係にあるか理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる社会の課題を理解している。	・幸福、正義、公正などに着目して、考察し、表現している。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 5月 ～ 6月	③裁判所と司法 第2章1 ①国会と立法	・裁判所の役割や裁判員制度について理解している。 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の課題を理解している。	・政治分野の国会・内閣のしくみとも関連させ、考察し、表現している。	・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 6月 ～ 7月	②内閣と行政 ③国境と領土問題	・議院内閣制や国会・内閣の現状と課題を理解している。 ・国境と領土問題について理解している。	・同上 ・国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。	・地域や国の課題について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動をとっている。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出 ・定期考査		
【2学期】 9月 ～ 10月	第2章2 ①平和主義と安全保障 ②国際社会における日本の役割	・日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の課題を理解している。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の課題を理解している。	・日本国憲法の平和主義をふまえ、考察し、表現している。 ・地理・歴史などの知識もふまえ、経済分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出 ・定期考査		
【2学期】 10月 ～ 11月	第3章1 ①労働者と権利 ②日本経済のこれまでとこれから	・労働に関わる法や権利を理解している。 ・戦後の日本経済のあゆみについて理解し、現代の課題について理解している。	・法分野の基本的人権とも関連させ、考察し、表現している。 ・歴史や情報などの知識もふまえ、考察し、表現している。	・雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出 ・定期考査		
【2学期】 11月 ～ 12月	第3章2 ①市場のしくみ ②金融の意義と役割	・市場の基本である需要と供給との関係について理解している。 ・金融機関の役割と金融政策、金融における技術革新について、生活との関わりをなかで理解している。	・歴史などの知識もふまえ、考察し、表現している。 ・家庭科の知識もふまえ、考察し、表現している。	・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出 ・定期考査		
【3学期】 1月 ～ 2月	③財政のしくみと租税 ④国際分業と貿易	・財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を理解している。 ・貿易の必要性や自由貿易と保護貿易の違いを理解している。	・少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ、考えている。 ・地理などの知識もふまえ、政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ、考察し、表現している。	・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 2月 ～ 3月	第3章3 ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③国際社会の課題	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。	・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出 ・定期考査		
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「高等学校 新公共」(第一学習社)						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各単位時間ごとの学習プリを用いた作業学習(講義、発問) ・各単位時間ごとにまとめた「日々の課題」で確認 						
評価について	<p>各学期ごとの定期考査と平常点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査による評価(8割)・・・【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点別に作問・採点する。 ・教科の評価基準による平常点(2割)・・・授業取組姿勢・態度、課題取組状況、発問に対し、自らの考えを適切に表現しているか。 						